平成24年12月19日

各 位

上場会社名　岡野バルブ製造株式会社
代表者　代表取締役社長 岡野　正紀
（コード番号　6492）
問合せ先責任者　取締役総務部長 岡野　武治
（TEL　093-372-9214）

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成24年6月27日に公表した平成24年11月期（平成23年12月1日～平成24年11月30日）の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成24年11月期通期連結業績予想数値の修正（平成23年12月1日～平成24年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,502	400	520	270	15.25
今回修正予想(B)	8,347	335	455	190	10.73
増減額(B-A)	△1,155	△65	△65	△80	
増減率(%)	△12.2	△16.3	△12.5	△29.6	
(ご参考)前期実績（平成23年11月期）	10,195	803	939	384	21.51

平成24年11月期通期個別業績予想数値の修正（平成23年12月1日～平成24年11月30日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	9,500	335	450	230	13.00
今回修正予想(B)	8,343	270	400	165	9.32
増減額(B-A)	△1,157	△65	△50	△65	
増減率(%)	△12.2	△19.4	△11.1	△28.3	
(ご参考)前期実績（平成23年11月期）	10,193	692	816	360	20.15

修正の理由

現在、当社の事業活動および業績は、東日本大震災に伴う原子力発電所の長期にわたる停止によって、様々な面から大きな影響を受けております。上半期は、大間原子力発電所や新設火力発電所向けバルブなどの大型案件や柏崎刈羽原子力発電所の定期検査工事もありましたが、下半期は付加価値の高い大型案件が減少し、厳しい状況で推移いたしました。

このような中で、第4四半期（平成24年9月～11月）に入り、売上計上を予定していた主要案件のうち、バルブ事業における大間原子力発電所向け案件が次期へ先送りとなったほか、メンテナンス事業における浜岡原子力発電所のSRV（主蒸気逃がし安全弁）定期検査工事や水没弁工事が繰り延べとなりました。また、これらに加え、福島地区における除染工事や放射線管理などの復興関連工事の需要が当初の想定に比べて伸び悩んだことや、円高の長期化により海外向けバルブ販売が引き続き低迷したことなどもありまして、当連結会計年度における売上高は平成24年6月27日に公表した予想を下回る見込みとなりました。

損益面においては、売上高の減少に伴う減益幅を最小限に留めるため、組織のスリム化、固定費の抑制、機動的な人員配置など様々なコスト削減策を実施してまいりましたが、工場稼働率の低下、メンテナンス作業員の待機工数増加、さらに第4四半期の主要案件繰り延べなどの影響が大きく、最終的には、営業利益、経常利益、当期純利益ともに当初の予想を下回る見込みとなりました。

なお、業績予想の修正による期末配当予想の修正はございません。

※上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

以 上